【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2008-183918(P2008-183918A)
【公開日】平成20年8月14日(2008.8.14)
【年通号数】公開・登録公報2008-032
【出願番号】特願2007-16393(P2007-16393)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｗ　10/08　(2006.01)
Ｂ６０Ｗ　20/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｌ　11/14　(2006.01)
Ｈ０２Ｐ　9/14　(2006.01)
Ｂ６０Ｋ　6/44　(2007.10)
Ｂ６０Ｋ　6/52　(2007.10)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｋ　6/04　３２０
Ｂ６０Ｌ　11/14　ＺＨＶ
Ｈ０２Ｐ　9/14　Ｇ
Ｂ６０Ｋ　6/04　５５０
Ｂ６０Ｋ　6/04　７１０

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月22日(2010.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
内燃機関と、内燃機関で駆動される発電機と、発電機の発電電力を電力変換して出力するインバータと、インバータの出力電圧が供給されて駆動輪を駆動する交流モータと、発電機の出力電圧及び出力電流で特定される動作点であって、モータトルク指令値に応じた最適動作点を算出する最適動作点設定手段と、上記最適動作点に応じて上記インバータの出力電圧を矩形波制御若しくは変調率を固定したＰＷＭ制御で制御するモータ制御部と、上記最適動作点に対応した発電機の出力となるように発電機の界磁を制御する発電制御手段と、を備えた車両の駆動力制御装置において、
発電状態に基づき、発電電圧の電圧変動が所定電圧偏差内に収まる、最適動作点の上限最適動作点及び下限最適動作点を算出する最適動作点限界設定手段と、
最適動作点限界設定手段で算出した上限最適動作点と下限最適動作点との間の範囲に、最適動作点設定手段で算出した最適動作点を制限する最適動作点制限手段とを備えることを特徴とする車両の駆動力制御装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決するために、本発明は、内燃機関で駆動される発電機の発電電力を、インバータを介して交流モータに供給し、モータトルク指令値に応じた最適動作点をとるよ

うにして上記インバータの出力電圧を矩形波制御若しくは変調率を固定したＰＷＭ制御で制御すると共に、上記最適動作点に対応した発電機の出力となるように発電機の界磁を制御する車両の駆動力制御装置において、

発電状態に基づき最適動作点の上限最適動作点及び下限最適動作点を算出し、その上限最適動作点と下限最適動作点との間の範囲に、最適動作点を制限することを特徴とするものである。